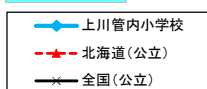


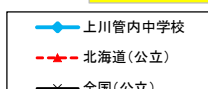
■上川管内の状況及び学力向上策（小学校数:108校、児童数:3123人）（中学校数:61校、生徒数:3096人）

小学校【教科全体の状況】



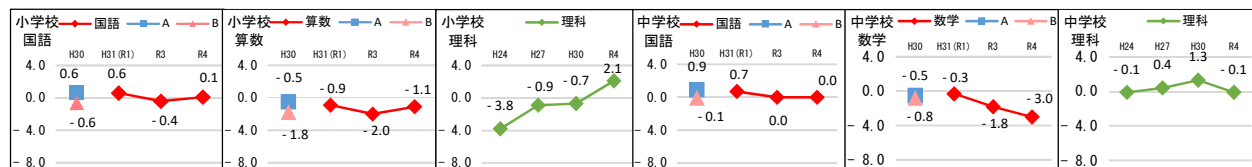
平均正答率	小学校国語	小学校算数	小学校理科	中学校国語	中学校数学	中学校理科
上川管内	66[65.7]	62[62.1]	65[65.4]	69[69.0]	48[48.4]	49[49.2]
全国	66[65.6]	63[63.2]	63[63.3]	69[69.0]	51[51.4]	49[49.3]

中学校



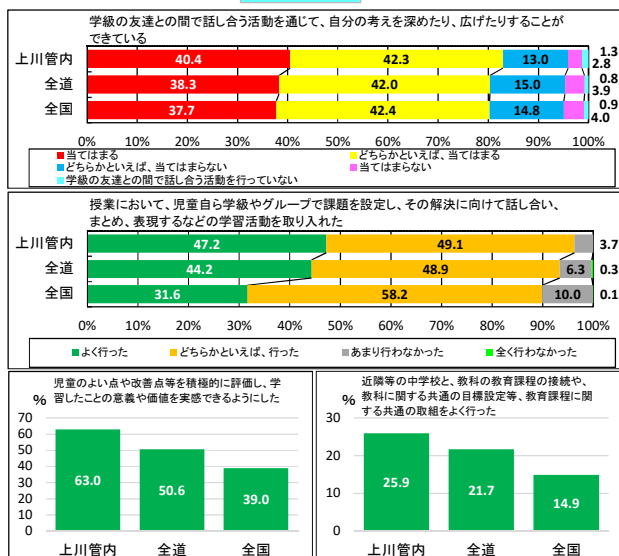
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの（管内の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

〔平均正答率の推移〕「管内の平均正答率－全国（公立）の平均正答率」の経年変化

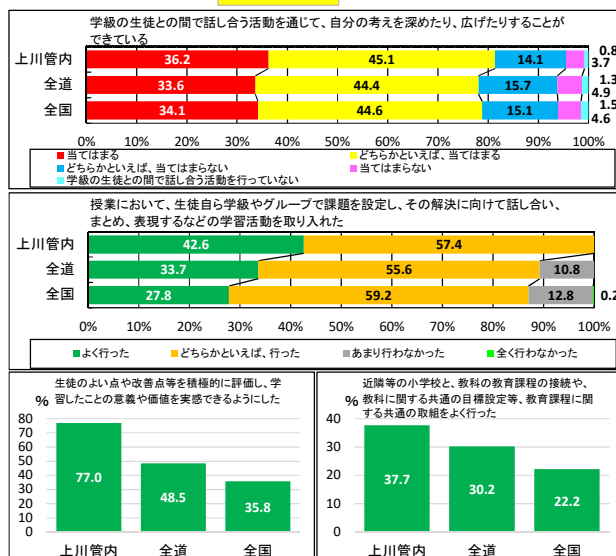


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

管内の多くの学校で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたことにより、授業改善が図られ、各教科の平均正答率が改善、向上したと考えられる。

各種研修会や学校教育指導訪問において、学習評価の意義について説明したことにより、多くの学校が、学習評価の意義を理解し、児童のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意味や価値を実感できるようにする学校の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

学校段階間の連携・接続を管内教育の重点とし、取組の充実を図ったことにより、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

管内の多くの学校で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたことにより、国語の「話す・聞くこと」の平均正答率が全国平均を上回るなど、授業改善が図られつつあると考えられる。

各種研修会や学校教育指導訪問において、学習評価の意義について説明したことにより、多くの学校が、学習評価の意義を理解し、生徒のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意味や価値を実感できるようにする学校の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

学校段階間の連携・接続を管内教育の重点とし、取組の充実を図ったことにより、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【上川管内の学力向上策】については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

上川管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

(1)組織的な学校運営の推進

- スタートカリキュラムや教育課程を軸とした幼小連携や小中連携を充実させる必要がある。
- 各種調査結果の分析、改善策は確立していることから、一層の質の向上に向けた組織体制づくりについて理解を深める必要がある。
- 教職員全体で育成を目指す資質・能力のビジョンを共有し、教員一人一人の参画意識を高める学校運営の充実に向け、組織力強化会議や学校経営指導訪問等においてこれまでの好事例等を提供する。

(2)授業づくりの充実

- 「主体的・対話的で深い学び」、「個別最適な学びと協働的な学び」、「指導と評価の一体化を図る学習評価」、「1人1台端末を活用した授業改善」等について、一層の理解、充実を図る必要がある。
- 学校教育指導訪問、マネジメントシートの活用などを通して、指導助言する。

(3)教師の指導力向上

- キャリアステージに応じた研修等を通して、授業改善の在り方について、一層の理解及び実践の充実を図る必要がある。
- 各学校において、計画的に教師の指導力向上を図るとともに、高等学校教員を活用し、教科指導に焦点を当てた管内独自研修をはじめとする各種研修や学校教育指導訪問を通して、個のニーズに応じた情報提供や指導助言する。

2. 具体的な取組

月	(1)組織的な学校運営の推進	(2)授業づくりの充実	(3)教師の指導力向上
10		第2回組織力強化会議	学校教育指導訪問 (要請訪問)
11	局独自「成果をあげている学校への取材」	学校教育指導訪問 (要請訪問)	小(中)学校教育課程改善協議会
12	局独自「上川管内学力向上研修 (校長座談会)」	学力調査 結果分析	
1		授業改善	局独自「フレッシュ教員指導力アップセミナー」
2	組織力強化会議事後アンケート		局独自「上川管内学力向上研修会」
3			

3. 取組の評価

(1)組織的な学校運営の推進

- ①組織体制づくり(新規)
 - 〈組織力強化会議事後アンケート〉
 - ・現 状 小…4.5 中…4.5
 - ・達成値 年度末に評価
- ②小・中学校の連携
 - 〈管内教育推進の重点Ⅲ-2-②〉
 - ・現 状 小…4.3 中…4.3
 - ・目 標 小…4.5 中…4.5
 - ・達成値 年度末に評価

(2)授業づくりの充実

- ①主体的・対話的で深い学びの実現
 - 〈管内教育推進の重点Ⅱ-1-②〉
 - ・現 状 小…4.4 中…4.3
 - ・目 標 小…4.6 中…4.5
 - ・達成値 年度末に評価
- ②組織的・計画的な学習評価
 - 〈管内教育推進の重点Ⅱ-1-②〉
 - ・現 状 小…4.2 中…4.3
 - ・目 標 小…4.5 中…4.5
 - ・達成値 年度末に評価

(3)教師の指導力向上

- ①各種研修アンケート
 - ・目 標 小…4.5 中…4.5
 - ・達成値 年度末に評価

4. 改善点

(1)組織的な学校運営の推進

- 学校経営指導訪問及び学校教育指導訪問において、各学校の状況について確認するとともに、好事例を収集し、中学校区における学習状況の共通理解を図る取組の充実を図る。
- 組織力強化会議において、シンポジウムや中学校区での協議の場を設定し、小中連携の視点も含めて組織力向上の取組の充実を図る。

(2)授業づくりの充実

- 組織力強化会議や学校教育指導訪問、マネジメントシートの活用などを通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて指導計画の充実・改善について指導助言する。
- 学校教育指導訪問、マネジメントシートの活用などを通して、一層の学習改善、授業改善を図ることができるよう、指導と評価の一体化や1人1台端末を活用した授業改善についての理解及び実践の充実を図る。

(3)教師の指導力向上

- 「学力向上研修会」「SD派遣」「フレッシュ教員指導力アップセミナー」などを通して、各学校や教師の実態に応じた研修の充実を図る。